

返還後の香港を視察 10年度「女性の翼」

10月18日から21日まで女性の海外視察研修「女性の翼」が行われました。

晴天に恵まれた4日間。参加者各人が、心とバックにたくさんのおみやげを詰めて元気に帰国しました。



青馬大橋をバックに記念撮影

生き生きと女性の翼



団長 加瀬弘子(原方)

10月18日「女性の翼」のメンバーを乗せて、JAL 731便は香港に向けて飛び立ちました。

香港に着くと、つり橋で有名な青馬大橋から見学が始まりました。展望台からは高層ビルの林立している街の様子が一目で見渡せま

した。橋の基礎工事は日本の建設会社が仕上げたという事を聞き、わが国の技術の素晴らしさを再確認させられたと思います。

ビクトリアピークの山頂から百万ドルの夜景を眺めました。ネオンの点滅は禁じられているとの事ですが色とりどりに輝く様子はすばらしいものでした。

2日目は、英国からの返還式典が行われたコンベンションセンターを見学。式典に間に合うように急ピッチで造られたそうですが、海に面して突き出た屋根が広々としている雄大な建物でした。水際まで立ち並ぶ高層ビルは日本では考えられないものです。地震の無い国の良さでしょう。

昼食のレストランでは、時間とともに集まって来る人たちの賑やかな笑い声と会話が広がり、当地の食事風景を感じることができました。

庶民の台所と言われる自由市場を見学したときは、独特の臭いと山と積まれた品物に驚かされました。野菜は選別無しで台の上に積まれ、時々水をかけて鮮度を失わないようにしています。魚は水槽を泳ぎ回り、肉は必要な分だけ切り取って売っています。冷凍食品や冷蔵庫は見当たりませんでした。

3日目は、中国の深圳に向かいました。国境では、香港が返還されたとはいえ外国並の査察があり、中国人も身分証明書を提示していました。深圳は近年、経済特区として開発された地区だけに道路も広く、高層ビルも立ち並び近代都市という感じでした。

外国に出かけてみると、自分の国と対比することができず。食文化一つみても、日本のスーパードラムのように選別され、包装され、冷凍されたものはありませんでした。あまりに外見だけにとらわれ過ぎている私達の日常生活を見直す一つの機会になったような気がします。

4日間、何の事故もなく団員相互の親睦を深めながら楽しい旅をすることができました。このような研修の機会を与えて頂き、心より感謝申し上げます。

12月は大気汚染防止推進月間です。また、これに合わせて1月まで「ぐるっと青空キャンペーン」を実施していますので、みなさんもこの機会にきれいな空について考えてみてはいかがでしょうか。

ぐるっと青空キャンペーン

『千葉の空みんなの力でさわやかに』

―車と暖房ひかえめに―
みなさんは冬の空気が意外と汚れているって知っていますか？

普段、冬空についてどのような印象を持っているでしょうか。寒さが身にしみるけれど、澄みきったきれいな空という感じを受けていませんか。実際、冬は一年で最も空気が汚れます。特に12月は歳末で交通量が増えるうえ、地表の汚れた空気を閉じ込める層(逆転層)ができやすく、空気が淀んでいます。この主な原因となっているのが、自動車の排気ガスと暖房によるものであると言われています。

- ① 駐停車中の不要なアイドリング(エンジンのかけっぱなし)はやめましょう。
- ② 急発進・急加速・空ぶかしをやめましょう。
- ③ 路上駐車をやめ、駐車場を利用しましょう。
- ④ 電車・バスなどの公共交通機関を大いに利用しましょう。
- ⑤ 低公害車の利用を優先しましょう。

- ◎暖房も効率よく使いましよう。
- ① 暖房の設定温度を低くしましょう。
- ② 暖房を必要につけっぱなしにしないようにしましょう。

◎効率よく車を使いましょう。

